

# ぶ霊水と共に

発行 法華寺  
No.5  
2018.8  
河南町加納 247  
☎0721933023

## 「法燈(ほうとう)を継承して」

四月の法燈継承式(入退山式)に、ご参集いただいた、ご寺院様、檀信徒の皆様には、改めて御礼申しあげます。

私の祖父の行法院日経上人の師僧にあたる行住院日成上人の教えに「うまくいかないのは自身の不徳、うまくいくのは諸天のお慈悲」というものがあります。当日は雲一つない晴天に恵まれ、私自身はまさしく「諸天のお慈悲」をいただいたと感じていました。

住職就任の挨拶の中で、「急激な時代変化の中では、変えてはいけないこと、変えなければいけないことの難しい判断が迫られます。その判断の拠り所は、檀信徒皆様のご意見です。ぜひ色々なご意見を遠慮なくお聞かせください。『こんなお寺であってほしい。こんな住職であってほしい』そのような声もお聞かせください。『法華寺があつてよかった。法華寺とお付き合ひしてよかった』と感じていただけるように励んでまいります」とお話ししました。

## お寺ができること

お寺の役割は、三つあると思います。一つは、檀信徒の皆様のご先祖、亡くなられたお身内の供養やその場所の提供です。もう一つは、来寺された方に仏教を味わっていただくこと。読経やお香、お寺にいることで味わえる感覚、法話等による仏様の教えの理解です。

最後の一つは、お寺として社会に貢献することです。以前より、「貧困家庭」「こども食堂」の支援として、法華寺は「おてらおやつクラブ」という組織に参加しています。お供えいただいたお菓子やお野菜を、全国に回す運動です。お供え以外に、食材などをお届けいただければ、お寺から発送します。できる範囲、無理ない範囲で、ご協力いただければ幸いです。



## 施餓鬼法要のお食事について

法華寺では、以前より「ちらし寿司」のお供養をお出ししていました。それを楽しみにしてお参りいただく声も少なくありませんでした。しかし、作っていただいている村檀家の当番の方の負担(ご高齢化、家事都合や、お皿で提供する場合の食事場所の混雑、また、夏期は気温が高く食材の心配もあり、今回の法要から、「どん蝶」のおこわを提供することになりました。ご了承くださいますようお願いいたします。また、秋の御会式、春の開山忌は、季節、提供数を判断し、今のところ例年の「ちらし寿司」を予定しております。

## お経本のこと

四月の法燈継承式の記念品の一つに、「大意・現代語訳付きの法華経の略要本があります。檀信徒の皆様方に、少しでも、お経に興味を持っていただき、親しんでいただくことと思いい作成しました。お身内や縁者の方で、追加のご希望がございましたら、遠慮なくお申し出ください。



ホームページのブログ(二〇一八年一月八日)より

「ご葬儀が過ぎました。一つ目は九十歳の女性。ご遺族の息子さんは、母の入院後四か月、献身的に看病し、一日でも長く生きてほしいと毎日仏壇に手を合わされていました。二つ目は六十代後半の男性。急死でした。火葬場でいつまでも棺にすがる娘さんのお姿が目に残っています。「愛情が深ければ深いほど、別れが悲しい」ということでしょうか。愛情は表裏一体ですね。しかし死別は世の常、「感謝と思い出」が残る親子関係なら幸いです。しかし、親子関係は、人間関係の中でも、難しい関係とされています。互いに強い感情が付きまとうからです。どの人間関係において、相手を变えようと思うのは難しいので、まず自分が変わることで。苦手な相手には、こちらから、笑顔で接したり、親切にすることから変化が見込める場合もあります。人の悩みは、全て人間関係の悩みと言っても過言ではありません。

## 今後の行事予定です

◎八月十五日(水) 午後一時〜

### 施餓鬼法要

例年どおり、河南町ぶくぶく

ドームの駐車場をご利用くだ

さい。公園まで、タクシーでピ

ストン送迎いたします。また、

金剛バスでお越しの方は、

お寺の下の、平石線の北加納

バス停前付近からも、タクシ

ーにお乗りいただけます。



## あとがき

・先住職(日驗)

ご来寺される方々のお喋りが楽しみです。寺にいたることが多くなりましたので、気軽に声をかけてください。

・住職(真人)

健康維持のため、酢や酵素、発酵食品の摂取を心がけています。でも本当は早寝早起き腹八分が理想ですよ。

・寺庭婦人(ヌイ)

夏の伝統野菜。水茄子、毛間胡瓜、勝間南瓜などが美味しい季節になりました。調理法も様々です。

・寺庭婦人(早智子)

二の腕体操。一か月でどれだけの効果があるでしょうか? いや、一か月続けられるでしょうか?

・徒弟(大志)

宗門の青年僧侶の方々と千葉の霊蹟寺院への研修旅行に参加しました。遠かったので疲れしました。